

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

民主党の政権となり、政権交代後に国家予算の見直しで事業仕分けが公開のうえに行われたのは記憶に新しい。事業仕分けに関連して、整形外科という診療科も話題になり、開業しておられる先生方の収入がよいであるとか、仕事が比較的楽であるとか、整形外科医の数が増え続けているなどの批判を浴びている。

どのコメントも正当性という点では問題のある批判ばかりであり、決して正しく現状を分析しているとは言えない。教育機関で若い先生を指導する立場にある者としてはいい加減な批判には飽き飽きする。

それでも見方を変えて考えてみると、あなたがち整形外科という専門科目を選択することが悪いことではない、とマスコミが宣伝してくれているようにも思えてくる。きつい労働や、社会状況などから、一般外科や産婦人科、小児科などの重要な専門科目を選択する若い医師が減っていることを考えると、整形外科という専門科目は明るい話題がある診療科であると思える。

地域の医師の減少の問題に始まって、大学という教育機関での研修を受けない若い研修医が増えている。医師としての専門科目の選択を若い研修医の自由裁量に任せていたのでは、各々の診療科の医師の数が大きく偏るという事実が生じてもやむを得ないのではないかとも思える。いっそのこと各専門科の学会が協議し、教育すべき研修医の数を診療科別に決め、それを各地域の研修施設で偏りなく配分するといった、アメリカ式の教育システムを取り入れるようなことも、今後は検討していかなければならない時代になりつつあるのではないかと、とも思える。

そうは言ってもアメリカがすべての点で、フェアで公正な判断を果たせる国かどうかには大きな疑問が残る。沖縄の軍事基地問題で反発したり、将来のアメリカの強力なライバル国と思われる中国に、有力議員が多くの国会議員を連れていくと、アメリカが糸引きをしているのではないかと思えるようなパッシングが、政治の責任をとる重鎮たちに降りかかる事実は、アメリカという国の底知れない恐ろしさを感じさせる。

国際学会にも似たようなプレッシャーがかかり、多数を占める学会の会員数、英語のみで開催される会議などで、executive membersがアメリカ主導で運営されるという事実は否めない。論文も当然のことながら、世界で読まれる英文の論文でないと、価値は非常に低いという風潮が出来上がっている。

それでも本誌に掲載されている、多くの優れた質の高い論文をみると、日本の整形外科のレベルの高さを確信する。若い先生の活躍で、英文論文と同等の価値のある、あるいはより優れた論文が本誌「臨床整形外科」に投稿され続けることを期待したい。

(黒坂昌弘)

臨床整形外科 (第45巻第2号)

2010年2月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520円(本体2,400円+税5%)

[2010年ぎめ予約購読料29,400円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。